

厚生労働省委託事業「平成 30 年度実践的な手術手技向上研修事業」

『献体による外傷手術臨床解剖学的研究会』受講者公募案内

ご遺体を使用した手術手技向上のための研修（「実践的な手術手技向上研修事業」）が、厚生労働省の委託事業として実施されます。各回、全 1 日間の日程で、a)基本手技 b)胸部外傷 c)血管外傷 d)腹部・骨盤外傷 e)四肢外傷 に対するアプローチ・修復手技を学ぶ内容で、計 3 回の開催が予定されています。

今回は、委託先である東京医科大学 救急・災害医学分野から、日本救急医学会・日本外傷学会・日本 Acute Care Surgery 学会 会員を対象とした受講者公募のご案内です。

開催日程： 12 月 12 日（水）
2 月 13 日（水）
3 月 6 日（水）

研究会会場：

東京医科大学 人体構造学分野 解剖実習室

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1（東京医科大学病院とは場所が異なります）

受講費：12000 円 *受講費は、ご献体の火葬費・棺代に対する費用です。食事代、宿泊費、交通費は含みません。

受講条件：

- 1) 日本の医師国家資格を有する者
- 2) 日本救急医学会・日本外傷学会・日本 Acute Care Surgery 学会いずれかの会員であり、かつ その所属学会社員（評議員）の推薦があること
（※ 評議員は、自身の所属施設外の医師を含め複数者の推薦を可能としますが、1 施設からの推薦は 1 名までにしてください。）
- 3) 応募時点で、日本救急医学会専門医・日本外科学会専門医・日本脳神経外科学会専門医・日本整形外科学会専門医のいずれかの資格を有する、医師経験 20 年以下（医籍登録 1999 年以降）の者（※ 合格通知を得ていない今年度の専門医試験受験者は、対象外となります）

公募期間：

平成 30 年 10 月 17 日（水）～10 月 30 日（火）

参加希望者は 10 月 17 日～10 月 30 日に、次ページの応募用紙の全項目に記入の上、下記宛に

FAX で応募して下さい (e-mail 不可)。FAX 到着後に受け取り通知を e-mail にて返信致します（2 週間以上経っても返信が無い場合は下記連絡先までお問い合わせ下さい）。なお、希望者多数の場合、抽選での受講決定となることをあらかじめご了承ください。

※問合せ先：東京医科大学 救急・災害医学分野 tel: 03-3342-6222 内線 5781

※原則、応募は各施設より 1 名でお願い致します。過去に本研究会への参加歴がある方は、ご遠慮下さい。

FAX 送信先：東京医科大学 救急・災害医学分野 研究会担当者 本間 宙（ヒロシ）

FAX： 03—3342—5687（救急・災害医学分野 直通）

- ・記入日：
- ・応募者氏名：(印字または楷書)

※個人情報の取扱いに関しては、
当方で十分に留意致します。

応募者氏名 (応募者自筆署名をお願いします)：

- ・卒業年(西暦)年 医籍登録(西暦)年
- ・所属施設・部署・役職：

- ・連絡先 (e-mail address は必須 → 誤りを防ぐため印字をお願いします)：

- ・所属学会名(学会名に○をつけて下さい。複数選択可)
() 日本救急医学会 () 日本外傷学会 () 日本 Acute Care Surgery 学会
- ・所有する専門医(指導医)と、その番号：

- ・受講希望日…第3希望までおねがいします
第1希望日() 第2希望日() 第3希望日()

- ・評議員の推薦

上記の者が、東京医科大学『献体による外傷手術臨床解剖学的研究会』に参加応募することを推薦します。

施設・部署名：

役職名：

評議員所属学会名：

評議員氏名 (評議員自筆署名をお願いします)：

- ・以下に、応募の動機や理由を記載して下さい。